

開口部の断熱改修工事 「水道光熱費の節約効果」の試算条件

- ・使用ソフト：AE-Sim/Heat（建築の温熱環境シミュレーションプログラム）/（株）建築環境ソリューションズ
- ・気象データ：「拡張アメダス気象データ」2010年版標準年/（一社）日本建築学会
- ・計算地点：名寄（1地域）、札幌（2地域）、盛岡（3地域）、長野（4地域）、宇都宮（5地域）、東京（6地域）、宮崎（7地域）
- ・戸建住宅モデル：2階建て/延床面積 120.08 m²「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン
- ・集合住宅モデル：基準階妻側住戸/延床面積 70.00 m²「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説Ⅱ住宅」標準住戸のプラン
- ・躯体：平成4年省エネルギー基準レベル相当
- ・既設窓：アルミ単板ガラス二重窓（1、2地域）、アルミ単板ガラス（3～7地域）
- ・想定生活者：4人家族
- ・空調設定：暖房 20°C 冷房 27°C（就寝時 28°C）・60%
- ・空調運転方法：間歇運転
- ・想定機器：冷房／全エリア／エアコン（COP3.0）、暖房／北海道／FF 暖房機 29MJ/L(=灯油発熱量:36.7MJ/L×暖房効率:80%)・その他エリア／エアコン（COP3.0）
- ・電気料金単価：31円/kWh（税込）（（公社）全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価）
- ・灯油単価：119.7円/L（税込み）/北海道経済産業局資料 22年の4-11月平均価格、全道対象、配達価格

※効果金額の算入に関しては、戸建住宅は窓（大）（中）（小）それぞれ5か所分を最大として算入、集合住宅は窓（大）（中）（小）それぞれ2か所分を最大として算入しております。ドアに関しては、算入していません。

注意：削減金額は、ある条件下でのシミュレーション結果です。あくまでも目安であり、記載どおりの節約を保証するものではありません。

エコ住宅設備の設置 「水道光熱費の節約効果」の試算条件

太陽熱利用システム

平成 28 年省エネルギー基準に準拠したプログラム（住宅版詳細入力画面）ver.3.7.0（2024.12）より

- ・熱源機(給湯専用型)の種類：ガス潜熱回収型給湯機（モード熱効率 95.0%）
- ・液体集熱式太陽熱利用設備：「設置する」
- ・設備の選択：密閉型太陽熱温水器（直圧式）
- ・給湯接続方式の選択：接続ユニット式
- ・面積：集熱部総面積 4.0 m²
- ・設置方位角：真南から東および西へ 15 度未満
- ・設置傾斜角：30 度
- ・貯湯量：200L
- ・年間日射地域区分：A3 区分（年間の日射量が中程度の地域）

上記の条件以外は、全てデフォルト値で試算。

節水型トイレ（掃除しやすい機能を有するもの）

- ・ネオレスト L S（床排水） 大便器は大 8L/回 小 6L/回との比較※

節水型トイレ（上記以外）

- ・ピュアレスト Q R + ウォシュレット S 大便器は大 8L/回 小 6L/回との比較※

高断熱浴槽

- ・サザナ 魔法びん浴槽、ガス従来型給湯機での試算※

節湯水栓

- ・台所水栓：エコシングル水栓（節湯 C1）
- ・洗面水栓：エコシングル水栓（節湯 C1）
- ・浴室シャワー水栓：コンフォートウエーブシャワー

にて、ガス従来型給湯機での試算※

※ 試算条件は[こちら](#)。シミュレーションにおける 6 地域（東京）以外についても、「平成 28 年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」における、各地域の「4 人世帯」の条件に基づき試算。

注意：削減金額は、ある条件下でのシミュレーション結果です。あくまでも目安であり、記載どおりの節約を保証するものではありません。